

事務事業名	教育交流訪問団の受入・派遣事業				担当	教育委員会 学校教育課 教育政策係			
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)				
施策名	3	国際化に対応した教育							
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 H1 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
法令根拠									
予算科目	1.一般会計	10.教育費	3.中学校費	2.教育振興費					
予算科目									
予算科目									
事業概要	国際交流事業の一環として、市内6中学校がそれぞれ海外の中学校と姉妹校を結び、国際理解と友好親善に資するために相互交流を実施している。 ・真岡東中：アメリカグレンドーラ市ガダード中（平成2年11月9日姉妹校締結） ・真岡西中：台湾斗六市正心高級中（平成5年7月23日姉妹校締結） ・大内中：中国北京市北京第5中（平成10年11月12日姉妹校締結） ・真岡中：オーストラリアオーストラリンド校（平成15年10月30日姉妹校締結） ・中村中：アメリカグレンドーラ市サンドバーグ中（平成18年11月3日姉妹校締結） ・山前中：アメリカボルチモア市サドブルック・マグネット中（平成19年11月9日姉妹校締結） ・長沼、久下田、物部中学校は、姉妹校締結に向けた相互交流を実施している。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)		④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移						
3年度実績 新型コロナウイルス感染症により受入・派遣はすべて中止。 代替としてICT機器等を活用したオンライン等による相互交流を実施する。 4年度計画 新型コロナウイルス感染症により受入・派遣はすべて中止。 代替としてICT機器等を活用したオンライン等による相互交流を実施する。		名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)
		ア 派遣人数	人	40	108	0	0	0
		イ 受入人数	人	64	20	0	0	0
		ウ 姉妹校締結数	校	6	6	6	6	9
		エ						
		オ						
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移						
中学校生徒		名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)
		ア 中学校生徒数	人	2323	2281	2253	2223	2248
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移						
姉妹校生徒との交流を通じて、国際理解を深める。		名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)
		ア 国際理解が深まった生徒数	人	2323	2281	-	-	-
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	11,941	10,618	0	0	0	
	事業費計 (A)	千円	11,941	10,618	0	0	0	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 語学力と異文化理解、国際感覚を養うことは、国際理解教育の推進という市の施策と結びついている。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 生徒に国際感覚を身につけさせることは、市の施策として行う必要がある。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 市内の中学生を対象としており、国際交流を目的としているので妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 長沼、久下田、物部中学校に姉妹校が締結されることにより、さらなる国際理解と友好親善を図ることができる。 大内中学校や山前中学校についても国際交流を通じた友好親善が図れるような手立てを考える必要がある。 また、コロナ禍においてもオンライン等を活用した交流を推進し、これまで各校が築いてきた姉妹校との交流を維持向上していく必要がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統廃合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統廃合・連携ができる(類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業と統廃合・連携できない(類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 教育国際交流に必要な経費である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性 各校で実践しているオンライン等を活用した交流について市内で情報共有することで、さらなる交流の活性化を図る。また、二宮3中学校の姉妹校締結に向けて、市教委と学校が連携して取り組んでいく。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							